



皆様こんにちは、ヨコレイひまわり発電所です。災害級の猛暑が続いていますね。気温35度以上の環境で扇風機やハンディファンを使うと、かえって熱中症リスクが高まるそうです。濡れタオルや保冷剤との併用が望ましいようです。
それでは今月も、ひまわり通信にお付き合いください。

業務用建築物のZEB化普及促進支援事業の公募開始

環境省は、ZEBの更なる普及拡大のため、新築・既存の業務用建築物ZEB（※）化に資するシステム・設備機器等の導入を支援する事業について、公募を開始します。

■ 事業概要 新築・既存の業務用建築物等において、利用者の「高い生活の質」の実感につなげると同時に、温室効果ガスを2030年までに46%減（2013年度比）の早期達成に寄与するため、システム・設備機器等の導入を支援し、ZEB化・省CO₂改修の普及拡大を進めるものです。

■公募期間 令和7年7月22日（火）～ 同年8月22日（金）17時

■予 算 2,000m²以上の既存建築物で上限5億、その他上限3億

■補助対象、補助率

延べ面積	ZEB (※)	Nearly ZEB (※)	ZEB Ready (※)	ZEB Oriented (※)
2,000m ² 未満	新築 1/2 既存 2/3	新築 1/3 既存 1/2	-	-
2,000m ² 以上 10,000m ² 未満	新築 1/2 既存 2/3	新築 1/3 既存 2/3	新築 1/4 既存 2/3	-
10,000m ² 以上	新築 1/2 既存 2/3	新築 1/3 既存 2/3	新築 1/4 既存 2/3	新築 1/4 既存 1/2

※ZEB・・・Net Zero Energy Building 年間の一次エネルギー消費量を実質ゼロにすることを目指した建築物。上記区分においては、設計時に基準一次エネルギー消費量から50%以上削減（再エネ除く）し、かつ基準一次エネルギー消費量から100%以上削減（再エネ含む）となる建築物。

※Nearly ZEB・・・設計時において基準一次エネルギー消費量から50%以上削減（再エネ除く）し、かつ基準一次エネルギー消費量から75%以上100%未満削減（再エネ含む）となる建築物。

※ZEB Ready・・・設計時において基準一次エネルギー消費量から50%以上削減（再エネ除く）し、かつ基準一次エネルギー消費量から50%以上75%未満削減（再エネ含む）となる建築物。

※ZEB Oriented・・・設計時において基準一次エネルギー消費量から30%以上削減（再エネ除く）となり、かつ公益社団法人空気調和・衛生工学会において省エネ効果が高いと見込まれ、公表された未評価技術を導入する建築物。

太陽光設置目標を義務に 工場や店 1.2万事業者対象

経済産業省は2026年度から、化石燃料の利用が多い工場や店舗を持つ約1万2000事業者に対し、屋根置き太陽光パネルの導入目標の策定を義務付けます。屋根置きの太陽光パネルの普及は公共施設や住宅で先行しており、企業部門は取り組みが遅っていました。メガソーラー（大規模太陽光発電）は国内の適地が減っていることから、建物の利活用を急ぐ方針です。義務化の対象は、原油換算で年間1500キロリットル以上のエネルギーを使う事業者や施設です。主に工場や小売店、倉庫などが該当し、自治体の庁舎も含まれます。工場などの屋根にはペロブスカイト太陽電池が推奨されています。ペロブスカイトは従来のシリコン太陽電池と比較して25分の1の重さで、柔軟性があるのが特徴です。また、積水化学工業などの日本企業が技術的に優位かつ、主要な原材料であるヨウ素を国内で調達できるので（日本が世界シェア2位）サプライチェーンを海外に依存しないメリットがあります。日本エネルギー経済研究所は、太陽光発電の設置見込みのある国内の工場や倉庫、商業施設における発電量は2023年度時点で16テラ～48テラワット時と推定しています。これは原子力発電所2～6基分の規模で、日本の総発電量の2～5%に相当します。尾羽秀晃主任研究員は「国内では空き地よりも屋根のほうが設置可能な面積が広い。屋根の利活用は重要だ」と説いています。

太陽光発電の売電収入 10年前の半分以下に

かつては「家計の助けになる」と注目されていた太陽光発電ですが、近年は期待できる売電収入が大きく減少しています。要因は、固定価格買取制度（FIT）（※太陽光で発電した電力を電力会社に10年間買い取ってもらえる制度）の買取価格が年々下落していることが挙げられます。下落の理由は、技術の発展により太陽光設備の初期費用が安くなったためです。10年前と今年度を比較すると、買取単価は半分以下になっています。買取期間満了後は蓄電池やEVなどに、昼間に発電した電気を貯めて夜間に使用する自家消費が推奨されています。



職業体験実習を実施

7月3日（木）に近隣中学校の生徒さん二名に対し、職業体験実習を行いました。座学で空調の仕組みを解説した後、業務用空調機の分解作業や、排水栓の高圧洗浄作業を体験してもらいました。体験を通じて、私たちの業界に少しでも興味を抱いてもらえたなら幸いです。



※ヨコレイ太陽光発電 今月の実績※

（期間：6/2～7/1） ※（ ）内は前月の実績

- 発電した電気量 : 1166.0 kWh
- 東電への売電量 : 394.0 kWh
- 売電金額 : 3,349 円

■この期間の横浜市の天気概況 <気象庁HPより>

※（ ）内は前月の数値

日 照 時 間 : 201.1 時間 (140.3 時間)
平均最高気温 : 28.8 ℃ (23.1 ℃)

私たちが『ひまわり通信』を担当しています



アゲナ



カサノ



イノウ



クロダ

(株)ヨコレイ 法人向け太陽光発電

ひまわり発電所

<https://yokoray.co.jp/himawari>

0120-37-4501

（受付時間 9:00～18:00 土日祝日を除く）

※本紙の配信停止をご希望の方は、ご連絡ください※